

10月13日

フジ ハイロード

現職に5新人挑む

告示、過去最多届け出

立候補したのは届け出順に、会社員の新人・國谷涼太氏(25)、政治団体役員の新人・野末明美氏(60)、共

産党推薦、プログラマーの新人・宮部龍彦氏(46)、現職の福田紀彦氏(53)、元川崎市議の新人・山田瑛理氏

(42)、清掃員の新人・関口実氏(67)。宮部氏は諸派でその他の5人は無所属。届け出を済ませた各候補は市

任期満了に伴う川崎市長選が12日、告示された。過去最多となる6人が届け出し、4選を目指す現職に新人5人が挑む構図。福田市政3期12年の評価や多選の是非などが争点となる。155万人超が生活する都市のかじ取り役を決める論戦の幕が開けた。投票日は26日で、即日開票される。

(川崎市長選取材班) =関連記事18面に

10・26 川崎 市長選

立候補者(左上から届け出順)



【読み方】氏名、投票日現在の満年齢、所属党派(諸=諸派、無=無所属)、現職・新人の別、当選回数、政党推薦(共=共産党)、現在の主な職業:代表の肩書き(かっこ内は主な経歴)、最終学歴、現住所の順

おことわりに立候補している宮部龍彦氏については、経験や出馬に当たつての主張に著しい差別的言動があり、差別が拡散する恐れがあるため、異なる扱いとしておりました。

促進も訴え「最後まで明るく元気に皆さんと一緒に走り抜けたい」と誓った。野末氏は「市民の声を聞き、市民生活に寄り添う川崎市を、市民の方々と共につくっていきたい」と声を上げた。共産の推薦を受けしており、同党市議や市民団体らが駆け付けた。

福田氏はこれまでの実績を強調し、市政継続を訴えています。「次の4年間もしっかりと市民市長として役目を

果たしていきたい」と声を上げ、自民党の市議や立憲民主党の議員らも激励した。自民市連に離党届を提出している山田氏は子どもや大人が「挑戦できる街」を見据える。「皆さんの声に応えたい。幸せな今を積み重ね、より良い川崎の未来を描きたい」と語った。

で考え、市民と市民が話し合い、市民運動などの協力を得て強い川崎をつくっていきたい」と呼びかけた。

2013年以来、衆院選とは重ならない単独での市長選となり、投票率の行方も注目される。期日前投票は13日から市内の区役所などで行われる。

11日現在の市内の有権者数は127万9955人(男64万5148人、女63万4807人)。

國谷氏は東京に負けない子育て世代に選ばれる街を目指す。官民の人材交流の内各地で政策を訴え、支持を呼びかけた。

福田氏はこれまでの実績を強調し、市政継続を訴えています。「次の4年間もしっかりと市民市長として役目を

果たしていきたい」と声を上げ、自民党の市議や立憲民主党の議員らも激励した。自民市連に離党届を提出している山田氏は子どもや大人が「挑戦できる街」を見据える。「皆さんの声に応えたい。幸せな今を積み重ね、より良い川崎の未来を

で考え、市民と市民が話し合い、市民運動などの協力を得て強い川崎をつくっていきたい」と呼びかけた。

2013年以来、衆院選とは重ならない単独での市長選となり、投票率の行方も注目される。期日前投票は13日から市内の区役所などで行われる。

11日現在の市内の有権者数は127万9955人(男64万5148人、女63万4807人)。